

平成 26 年度

事業報告書

## 平成26年度 事業実績

### I. 事業実績

#### (公益財団法人として)

財団設立37年目で迎えた平成26年度は、公益財団法人移行後5期目であるとともに、世田谷区(これ以降「区」という。)より区立保健センター並びに総合福祉センターの第3期目の指定管理を受託し3年目の年にあたる。

当財団では、区の示した外郭団体改革基本方針に沿った新実施計画(平成26年度～平成29年度)にもとづき、公益財団法人としての役割を一層発揮し、区民の健康づくり支援やがん患者等を支える取組みの拡充とともに、地域医療機関への後方支援の強化などに取り組んできた。また法人の自立性を高めるため、収益事業の拡充など経営基盤の安定化、経営の効率化に向けた検討も進めてきた。

一方、区民に親しまれ信頼される事業運営をめざし、ホームページに必要な法人情報(役員名簿や財務諸表、例規類集など)を常に更新し整備するなど、公益財団法人としてのディスクロージャー(情報開示)を維持している。また、学会・研究会への発表論文を公開することで不特定多数の利益の増進という公益財団としての基本目的も果たしてきた。

なお、公益法人会計基準に従い収支相償の達成に向け公益目的事業を補完する収益事業の収入確保に努め、公認会計士による毎月の会計指導、中間期の財務状況を的確に把握するための期中監査など、経営状態の把握と年間の事業計画達成に向けた取り組みを継続、実施した。

今後は、これまでの取り組みに加えて、平成31年度の梅ヶ丘病院跡地における保健・福祉・医療の拠点整備を視野に、区立保健センターの管理運営を当法人が担っていくため、すべての区民の健康な生活に資することを財団の存在意義としてあらためて認識し、拠点機能の強化や健康づくり事業の地域展開の拡充などを進めていくことが必要となる。また将来を見据えた先駆的な施策等に応えられる職員の育成や意識改革も大きな課題である。

そこで今後の財団のあり方について関係団体を含む様々な方面からの意見を聴取しつつ、財団設立の目的達成に向けた経営改革を推進するために新たな経営ビジョンをはじめとする財団の基本計画の策定に向け、鋭意検討を進めているところである。

#### (財団運営の状況)

区立施設の指定管理者として今後も継続的に指定を受けるため、財団の財務状況の改善は必須である。このため支出抑制や効率的な事業運営に努めるほか、利用者増、収入増に向け、利用者の声を運営に反映させるためのアンケートを継続的に実施し、事業の改善に

取り組んできた。

また職員全体の年齢層が上がりつつあるなか、定年退職後の雇用（再任用制度）や、今後の人材登用につながる契約職員制度の活用など、マンパワーの維持・向上に向けた運用を行った。

広報活動としては、区内全域の新聞折込みによる健康情報紙「げんき人」の発行をはじめ、保健センターまつりにおける実施事業の案内紹介、健康情報の提供、がん検診の過去の受診者に対する勧奨通知などを行った。さらに、医療事業案内や施設内の事業紹介掲示の更新など、事業PRにも力を注いだ。

事業面においては、がん患者や家族等を支える中核的機能の確立をめざし、新たに「がん相談コーナー」の開設や、医師会実施分を含む5つの対策型検診の機能強化に向け精度管理の拡充（胃がん・肺がん）を図るとともに、乳がん検診における視触診同時受診の拡充や相談支援事業（指定特定・障害児）の開始など、保健センター・総合福祉センター両施設のノウハウを活かした新規・拡充事業に取り組んだ。

さらに、施設面では消防点検における設備の指摘事項など、適切な補修を行うとともに、利用者の安心・安全につながる改修を進めた。花と緑に溢れた保健センターをめざし、前年に引き続き花壇整備は地域区民ボランティアの協力により、利用者の視点に立ったホスピタリティ溢れる施設を実現した。さらに、環境への配慮として、環境配慮行動が進むよう総合的なECO推進に向け取り組んだ。

## 1 公益目的事業

### 公益1 世田谷区民の健康の保持増進を図る事業 （保健センター事業）

#### （1）区立保健センター維持管理運営事業（定款第4条第1号事業）

区立保健センターの指定管理者として、区立保健センター施設・設備並びに物品の維持管理運営に関する事務を実施した。

#### （2）がん検診事業（定款第4条第1号事業）

##### ① 保健センター及び検診車における胃がん検診

40歳以上の区民を対象に、保健センターの施設内及び2台の検診車で胃X線撮影による胃がん検診を実施し、検診の結果、必要な人に対しては医療機関と連携して、精密検査の受診を勧奨した。

[表1]

事業項目		年度		26年度			25年度		24年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
胃がん検診	回数	620回	638回	102.9%	590回	640回	627回		
	受診者数	15,000人	12,955人	86.4%	15,000人	14,527人	15,172人		
	がん発見数	—	17人	—	—	23人 (18人)	33人 (30人)		

※ 申込数 14,284 人(受診率 90.7%)、要精検数 2,188 人(要精検率 16.9%)

※ がん発見数は平成27年4月15日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は( )に記載のとおり。

② 保健センターでの乳がん検診

40歳以上の区民(女性)を対象に行われている乳がん検診において、受託機関として視触診、マンモグラフィ撮影(乳房X線撮影)及び読影を実施した。

なお、実績は女性がん無料検診事業にもとづく乳がん検診(無料クーポン券利用)との合算である。

[表2]

事業項目		年度		26年度			25年度		24年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
乳がん検診	回数	150回	152回	101.3%	150回	161回	164回		
	マンモグラフィ	300人	387人	129.0%	1,000人	879人	1,026人		
	視触診・マンモグラフィ	800人	962人	120.3%	—	—	—		

※ 無料クーポン券利用者 628 名を含む。

※ マンモグラフィ申込数 391 人(受診率 99.0%)、要精検数 30 人(要精検率 7.8%)

※ 視触診・マンモグラフィ申込数 977 人(受診率 98.5%)、要精検数 113 人(要精検率 11.7%)

**(3) 健康増進事業 (定款第4条第1号事業)**

① 健康度測定、運動負荷測定、健康増進指導等による多様な健康づくり

健康の維持及び積極的増進を図るため、18歳以上の区民を対象として、健康度測定・再測定、運動負荷測定を実施し、健康増進指導では健康度測定の結果に基づく各種健康教室を開催した。26年度は引き続き専門性を活かした「生活習慣病予防」「こころの健康づくり」

「手軽な健康づくり」など、テーマに応じた多様な教室を開催するとともに、壮年期世代をターゲットにした土曜・夜間の教室も開催した。

[表3]

事業項目		年度	26年度			25年度		24年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
健康度測定	回数	—	87回	—	—	85回	83回	
	人数	1,680人	1,831人	109.0%	1680人	1,757人	1,816人	
再測定	人数(再掲)	—	74人	—	—	66人	84人	
運動負荷測定	回数	—	45回	—	—	48回	47回	
	人数	150人	158人	105.3%	150人	166人	163人	
健康増進指導	回数	—	420回	—	—	399回	414回	
	人数	10,600人	11,866人	111.9%	10,800人	12,251人	12,862人	
壮年期健康づくり教室	回数(再掲)	48回	50回	104.2%	48回	48回	49回	

※ 健康度測定受診総数 1,831 人のうち、個別の休養指導(こころ・健康管理)1,371 人、栄養指導(食生活改善)1,398 人、運動指導(活動・運動方法)1,455 人を実施した。

※ 健康増進指導における指導内容の内訳は以下のとおり。

- ・ トータルな健康づくり 168 回(参加数 3,968 人)
- ・ 心とからだの癒しと元気 20 回(参加数 418 人)
- ・ 食での健康 16 回(参加数 369 人)
- ・ からだの元気 166 回(参加数 5,952 人)
- ・ 壮年期(夜間・土曜) 50 回(参加数 1,159 人)

## ② 保健センターから専門職員の派遣による地域での健康づくり支援

### (ア) 実地指導・健康づくり支援

区関係機関の依頼により、地区での健康教室や自主グループ活動に運動指導員等を派遣した。また、地域で行われる健康づくりに関する行事等の開催に協力し、区民の健康づくり活動を支援した。26年度は長期継続グループを支援するため、地域交流会を開催し、参加者全員での運動やグループ継続の工夫や問題点を話し合った。

[表4]

事業項目		26年度			25年度		24年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
実地指導	派遣数	1,100回	1,112回	101.1%	1,120回	1,115回	1,162回
	指導人数	—	17,848人	—	—	17,661人	18,514人
健康づくり支援	回数	100回	101回	101.0%	100回	105回	132回

(イ) 地域健康出前講座・壮年期対象地域講座・職場のげんき力アップ

依頼に応じて地域へ出向き、体脂肪量や骨格筋肉量の測定等とともにメタボリックシンドローム予防や介護予防に対する意識を高める講座等を開催した。また、壮年期向けに（公財）スポーツ振興財団等と連携し、壮年期対象地域講座を開催した。

また、本年より事業所単位で取り組む健康づくり「職場のげんき力アッププログラム」を開始した。

[表5]

事業項目		26年度				25年度		24年度	
		計画数	事業実績	指導人数	達成率	事業実績	指導人数	事業実績	指導人数
出張健康チェック	30回	12回	396人	96.7%	8回	249人	12回	396人	
出前講座(壮年期対象)		9回	171人		8回	371人	7回	257人	
健康応援団		8回	268人		—	—	—	—	
壮年期対象地域講座	8回	8回	167人	100.0%	8回	114人	8回	125人	
職場のげんき力アップ	3社	1.5社	—	50.0%	—	—	—	—	

③ 健康づくりを支援するリーダーの養成・活動支援

地域の健康づくりグループに対し、保健センターの運動指導員に代わって体操等を指導する区民ボランティアリーダーを養成し、自主的な健康づくり活動を支援した。

26年度は、25年度養成講座を修了した認定リーダーを対象に、レベルアップを図るための上級養成講座を開催した。また、指導技術の維持向上を図るための研修会や指導実習を実施した。リーダー実地指導では、地域グループヘリーダーを派遣しグループ活動を支援した。

[表 6]

事業項目		年度	26年度			25年度		24年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
リーダー養成	人数		隔年実施	—	—	10人	12人	—
上級リーダー養成	人数		10人	11人	110.0%	—	—	12人
研修会（講座）	回数		10回	10回	100.0%	10回	10回	10回
研修会（指導実習）	人数		30人	29人	96.7%	30人	30人	50人
リーダー交流会	回数		6回	6回	100.0%	6回	6回	6回
リーダー実地指導	回数		320回	316回	98.8%	320回	317回	317回

※ リーダー養成と上級リーダー養成は、隔年で実施。

④ 生活習慣病の重度化予防を推進する取り組み

生活習慣病のリスクがある区民を対象に合併症の発症や症状進展など重度化予防のための事業を展開した。26年度は地域出張健康測定・個別相談会・実践セミナーのほか、新たに医師会との連携による重症化予防対策（試行）をスタートさせた。

[表 7]

事業項目		年度	26年度			25年度		24年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
地域出張健康測定・個別相談会	回数		4回	4回	100.0%	4回	4回	2回
	人数		—	86人	—	—	81人	86人
重度化予防の実践セミナー	回数		4回	4回	100.0%	8回	8回	8回
	人数		—	73人	—	—	89人	176人
重症化予防対策	集団指導	回数	4回	5回	125.0%	—	—	—
		人数	—	54人	—	—	—	—
	個別指導	人数	10人	0人	0.0%	—	—	—

#### (4) 健康教育事業 (定款第4条第1号事業)

##### ① 各種健康イベントや健康情報の発信により地域の健康づくりの基盤を広げる

医師会、歯科医師会、薬剤師会等との共催により、健康相談・講演会、歯科衛生講習会、薬事相談を実施した。また、保健衛生知識の普及・啓発を目的として、保健センター主催・共催の講演会・講習会を実施し、公衆衛生思想の普及に努めた。心の健康づくり講習会では、「心」をテーマに駒澤大学禅学科より講師を招き、座禅講習会を開催した。

[表8]

事業項目		年度	26年度			25年度		24年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
区民のための健康教室	回数		4回	4回	100.0%	4回	4回	4回
	人数		—	1,045人	—	—	991人	1,206人
区民のための糖尿病教室	回数		1回	1回	100.0%	1回	1回	2回
	人数		—	14人	—	—	12人	17人
歯っぴいフェスタ	回数		1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数		—	736人	—	—	897人	389人
くすりと健康のつどい	回数		1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数		—	245人	—	—	355人	557人
薬の講演会	回数		1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数		—	27人	—	—	34人	68人
心の健康づくり講習会	回数		2回	2回	100.0%	2回	2回	12回
	人数		—	91人	—	—	116人	298人
講演会・講習会	回数		1回	1回	100.0%	1回	2回	1回
	人数		—	70人	—	—	174人	94人

② 健康情報の発信と保健センターまつり

健康情報の普及・啓発を目的に様々な情報発信を行った。主として、健康情報誌「げんき人」の発行、保健センター情報コーナー掲示板およびその他チラシを配布した。

健康情報紙(誌)「げんき人」はタブロイド判を3回発行し、新聞折込みにより区内全域に配布したほか、冊子形式を1回発行し、区施設等の窓口を通じて区民へ配布した。

また、『こびつと(しっかり)健活(健康活動) 何かが変わる!』をテーマとしたイベント「保健センターまつり2014」を10月5日(日)に開催、健康意識の向上と保健センター事業を広く知ってもらうため、係の枠を超えた実行委員会形式で企画・運営を行った。壮年期世代を含む比較的若い区民へのアプローチとして、近隣小学校を通じての周知を行い、家族向け体験企画や子ども向け体験ミッションを企画した。なお、健康づくり自主グループの長期継続表彰なども同時に実施した。

[表9]

事業項目		年度	26年度			25年度		24年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
健康情報紙(誌) 「げんき人」の 発行	タブロイド判	3回	3回	100.0%	3回	3回	3回	
	A4カラー判	1回	1回	100.0%	1回	1回	1回	
発行年月日	内 容						規 格 発行部数	
26. 6. 1 (第78号)	定期的に乳がん検診を受けましょう ほか						タブロイド判 2ページ 285,000部	
26. 10. 1 (第79号)	第5回 保健センターまつり2014 ほか						タブロイド判 2ページ 285,000部	
27. 2. 1 (第80号)	あなた、もしかして!隠れ糖尿病かも? ほか						タブロイド判 2ページ 285,000部	
27. 3. 1 (第81号)	働き盛り世代の健康づくり 平成27年度健康づくり教室・コースのご案内 ほか						A4判 6ページ 20,000部	

[表 10]

事業項目		年度	26年度			25年度		24年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
保健センター まつり 2014	回数		1回	1回	100.0%	1回	1回	1回
	人数		—	1,569人	—	—	1,708人	1,392人

※ 保健センターまつりにおける項目内訳は以下のとおり。

・健康講座「健診で守るあなたの健康寿命」	52人		
・長期グループ表彰式	28人	・ダンスフェスティバル	240人
・ダブルタッチ企画	290人	・みんなでやろうラジオ体操第3	75人
・健康活動グループ発表	310人	・健康づくり体験ゾーン	248人
・健康クイズ・パネル展示	247人	・1日科学者体験ミッション	100人
・せたがやファミリーウォーク	雨天中止	・がん検診・医療検査紹介	40人

### ③ 健康教育指導と団体支援

継続的な運動の機会を提供し、区民の健康づくりを支援した。また、他の団体等からの依頼により健康増進に関する実技指導等を行った。

[表 11]

事業項目		年度	26年度			25年度		24年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
運動コース	回数		400回	400回	100.0%	440回	432回	438回
	人数		—	18,107人	—	—	18,479人	19,455人
マシン トレーニング	回数		—	1,216回	—	—	1,261回	1,244回
	人数		12,500人	12,768人	102.1%	12,500人	11,983人	13,190人

[表 12]

事業項目			年度	26年度			25年度		24年度
				計画	実績	達成率	計画	実績	実績
出張指導	普及啓発 講座ほか	派遣人員		130人	179人	137.7%	168人	189人	167人
		参加人員		—	2,437人	—	—	2,603人	2,213人
	機能向上 プログラム	回数		2教室	2教室	100.0%	1教室	1教室	—
		人数		—	201人	—	—	133人	—

※ 機能向上プログラムの24年度は総合福祉センター事業として実施。

④ 区内大学等との連携と地域健康づくりグループとの交流

大学をはじめとする区内の学校等の実習受入れや、大学講師等と内容を協議した講習会の開催、新規事業等に対応する研修企画など、幅広い連携を図った。

また、保健センターまつりにおいて、長期継続グループの表彰を行った。

[表 13]

事業項目	年度	26年度	
		内 容	期 日
大学等との連携		世田谷区医師会立看護高等専修学校 実習受入れ	26年 5月～12月
		昭和大学 相談室の支援についての研修	26年 6月 5日
		昭和大学 安全管理についての研修指導	26年 8月 26日
		昭和女子大学 実習受入れ	26年 9月～10月
		武蔵野大学 ヘルスプロモーション実習受入れ	26年 9月～10月
		日本女子体育大学 実習受入れ	26年 10月～12月
		駒澤大学仏教学部禅学科 座禅講座講師派遣	26年 9月 27日 26年 11月 22日
地域健康づくり グループとの交流		長期継続グループの表彰	26年 10月 5日

⑤ 特定保健指導事業

「高齢者の医療の確保に関する法律」により、保険事業者（世田谷区国保）からの委託を受け、特定保健指導対象者に対して保健指導を行った。

[表 14]

事業項目	年度	26年度			25年度		24年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
積極的支援	実人数	75人	33人	44.0%	40人	28人	14人
動機づけ支援	実人数	225人	147人	65.3%	160人	106人	56人

⑥ 各種相談に対応する取組み

新たに10月より、主に在宅療養中のがん患者のための相談窓口を土曜日に月2回開設し、本人または家族の各種相談に対応した。

[表 15]

事業項目		年度	26年度			25年度	
			計画	実績	達成率	計画	実績
がん相談コーナー	回数		12回	12回	100.0%	—	—
	人数		—	21人	—	—	—

⑦ 新しい地域の拠点づくり

池尻2丁目に開設した区立健康増進・交流施設の指定管理者である共同事業体の構成員として、運動室「フットパル池尻」のスタッフ研修やプログラムの監修等を担当した。財団の持つ高い専門性や指導ノウハウを活用しながら、健康づくりを実践する新しい地域拠点として定着するよう分担業務に努めた。

[運動室スタッフの研修]

保健センターより運動指導員（チーフスタッフ）を派遣し、総合的な指導ができる運動室スタッフの育成に向け、研修計画の立案及び区立保健センターにおける実地研修を行った。

[運動室のプログラムの監修]

年間を通して幅広い層の区民が楽しくかつ安全に運動ができるよう、ヨーガ、エアロ、中国式体操、ストレッチ等の各種プログラムの内容評価、アドバイスなど総合的な監修を行った。

[健康達人マイスターの養成]

健康づくりを楽しみながら段階的に学ぶ講座を開催し、2年をかけて「健康達人マイスター」として認定する養成コースの初年度として、実践講座及び専門講座を開催した。

実践講座（全3回） 参加 51人（延べ 149人）

専門講座（全4回） 参加 18人（延べ 37人）

マイスター講座 参加 13人（延べ 104人）

[健康相談室の運営]

健康増進にかかわる専門職を派遣し、運動や食生活など健康に関する相談を実施した。

健康相談室利用状況 60人

[健康講座の企画運営]

財団のこれまで各種の健康講演会・講習会の開催経験を活かし、健康づくりの公開講座を企画し開催した。

健康講座 年3回（講演会3回・ワークショップ1回）参加 204人

## 公益2 心身に障害を有する区民の福祉の増進を図るために実施する事業 (総合福祉センター事業)

### (1) 区立総合福祉センターの維持管理運営 (定款第4条第2号事業)

区立総合福祉センターの指定管理者として、区立総合福祉センターの施設・設備並びに物品の維持管理運営に関する事務を実施した。

### (2) 相談支援事業 (定款第4条第2号事業)

世田谷区の委託により基幹相談支援センターを設置し、年齢・障害の種別に関わりなく、障害者（児）および家族等への相談支援を実施した。

また、地域の相談支援の中核的な役割を担う機関として、世田谷区自立支援協議会の事務局を担うとともに、区内の地域相談支援センター連絡会や相談支援事業者連絡会を通し、地域の相談支援体制の連携強化に取り組んだ。

さらに、世田谷区からの委託により、相談支援専門員を養成するための障害者ケアマネジメント研修や相談支援従事者初任者研修を実施し、地域の相談支援に従事する人材の育成を行った。

指定特定・障害児相談支援事業所については、総合福祉センターにおける障害者総合支援法による自立訓練事業や児童福祉法による児童発達支援事業の利用者を中心に、サービス利用計画の作成を実施した。

#### ① 相談支援

[表 16]

事業項目		年度		26年度			25年度		24年度
		計画	実績	達成率	見込	実績	実績		
相談件数	実人数	220人	154人	70.0%	280人	210人	278人		
	延人数	260人	198人	76.2%	390人	242人	384人		

② 自立支援協議会の開催

[表 17]

事業項目	年度	26年度			25年度		24年度 実績
		計画	実績	達成率	見込	実績	
自立支援協議会		2回	2回	100.0%	2回	2回	2回
同 運営会議		11回	11回	100.0%	16回	13回	10回

③ 人材育成

[表 18]

事業項目	年度	26年度			25年度		24年度 実績
		計画	実績	達成率	見込	実績	
研修実施		230人	230人	100.0%	100人	204人	109人

④ 指定特定・障害児相談支援事業所の運営

[表 19]

事業項目	年度	26年度			25年度		24年度 実績
		計画	実績	達成率	計画	実績	
サービス等利用計画作成		840件	277件	33.0 %	—	—	—

### (3) 機能訓練事業（定款第4条第2号事業）

#### ① 成人機能訓練

心身に障害のある成人を対象に、障害者総合支援法に位置づけられない指導・訓練のほか、障害者総合支援法に基づく自立訓練の契約開始までの指導・訓練や契約終了後のフォローを行った。

[表 20]

事業項目		年度	26年度			25年度		24年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
成人機能訓練	個別	実人数	500人	358人	71.6%	500人	264人	297人
		延人数	1,600人	1,398人	87.4%	1,600人	1,260人	1,394人
	グループ	実人数	40人	36人	90.0%	40人	48人	37人
		延人数	500人	211人	42.2%	500人	364人	408人

#### ② 障害者総合支援法 自立訓練

自立促進、生活の質の向上等を図るため、障害者総合支援法に基づく自立訓練（生活訓練・機能訓練）を実施した。

[表 21]

事業項目		年度	26年度			25年度		24年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
自立訓練	個別	実人数	70人	63人	90.0%	70人	65人	74人
		延人数	2,000人	2,829人	141.5%	2,000人	1,903人	2,478人
	グループ	実人数	50人	48人	96.0%	40人	42人	42人
		延人数	1,800人	2,362人	131.2%	1,500人	1,971人	2,083人

③ 児童機能訓練

発達の遅れや障害のある乳幼児・学童を対象に、心身の豊かな成長を促し、日常生活の自立に必要な能力や社会性を育むため、相談・評価・訓練等を実施した。

[表 22]

事業項目		26年度			25年度		24年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
観察評価		2,350 件	2,446 件	104.1%	2,500 件	2,408 件	2,355 件
児童機能訓練（継続相談）							
個別	実人数	350 人	231 人	66.0%	300 人	275 人	302 人
	延人数	900 人	741 人	82.3%	700 人	885 人	950 人
グループ	実人数	100 人	130 人	130.0%	125 人	151 人	120 人
	延人数	320 人	226 人	70.6%	320 人	310 人	398 人

④ 児童福祉法 児童発達支援事業

心身の発達の遅れや障害のある乳幼児を対象に日常生活に必要な能力や社会性を育むための療育として、児童福祉法による児童発達支援事業を実施した。

[表 23]

事業項目		26年度			25年度		24年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
児童発達支援事業							
個別	実人数	590 人	742 人	125.8%	550 人	620 人	574 人
	延人数	6,910 人	7,927 人	114.7%	5,020 人	6,150 人	6,258 人
グループ	実人数	100 人	94 人	94.0%	140 人	166 人	144 人
	延人数	1,900 人	1,027 人	54.1%	3,790 人	3,566 人	4,037 人

#### (4) 交流等地域支援（定款第4条第2号事業）

障害のある人もない人も、地域社会で共に生き、社会参加や生活の充実が図れるように各種講習会や行事の実施など交流の場と機会を提供した。

また、児童福祉施設や障害者福祉施設等の依頼によりスタッフを派遣し、施設職員に対する技術援助や施設職員等を対象とした研修を行うなどの地域支援を実施した。

[表 24]

事業項目		年度		26年度			25年度		24年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
交 流	講習会等参加	2,800 人	2,120 人	75.7%	2,800 人	2,599 人	2,691 人		
技 術 支 援	受託事業	485 回	449 回	92.6%	485 回	456 回	515 回		
	個別支援	90 回	106 回	117.8%	90 回	113 回	90 回		
研 修	人 数	1,000 人	744 人	74.4%	1,000 人	908 人	1,234 人		

## 2 収益事業

### 収益1 財団規程等に基づく健康診査・検査事業、地域医療を支援する事業 (保健センター事業)

#### (1) 保険診療等による検査事業 (定款第4条第3号事業)

地域医療を支援するため、医療機関からの依頼にもとづき、保険診療による各種精密検査を実施した。

[表 25]

事業項目		年度	26年度			25年度		24年度
			計画	実績	達成率	計画	実績	実績
胃								
内視鏡検査	件数	1,800件	1,533件	85.2%	1,800件	1,529件	1,644件	
病理組織検査	件数	650件	479件	73.7%	650件	475件	572件	
大腸								
内視鏡検査	件数	350件	332件	94.9%	350件	374件	309件	
病理組織検査	件数	120件	140件	116.7%	120件	150件	125件	
乳房								
一般撮影	件数	450件	153件	34.0%	450件	179件	235件	
スポット撮影	件数	50件	24件	48.0%	50件	19件	24件	
超音波検査	件数	500件	168件	33.6%	500件	201件	252件	
細胞診検査	件数	50件	12件	24.0%	50件	17件	26件	
子宮								
内視鏡検査	件数	100件	157件	157.0%	100件	139件	116件	
病理組織検査	件数	100件	158件	158.0%	100件	140件	115件	
細胞診検査	件数	100件	158件	158.0%	100件	140件	115件	
MRI検査	件数	2,300件	1,942件	84.4%	2,300件	1,974件	1,913件	
CT検査	件数	2,300件	1,863件	81.0%	2,300件	1,769件	1,706件	
腹部超音波検査	件数	250件	214件	85.6%	250件	198件	212件	
心臓								
ホルター心電図	件数	50件	30件	60.0%	50件	30件	22件	
超音波検査	件数	180件	160件	88.9%	180件	163件	171件	

## (2) 検体検査事業 (定款第4条第3号事業)

世田谷区と委託契約(単価契約)を締結し、子宮がん検診及び大腸がん検診の検体検査事業を実施した。大腸(便潜血検査)の実績は、地域の医療機関において特定健診・長寿健診との同時受診が可能となったことから受診者が減少した。

### ① 子宮

[表 26]

事業項目		年度		26年度			25年度		24年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
細胞診検査	頸部件数	24,000件	34,804件	145.0%	24,000件	24,353件	26,659件		
	体部件数	2,300件	2,275件	98.9%	2,300件	1,907件	2,420件		
	がん発見数	—	15人	—	—	24人 (12人)	25人 (14人)		

※ がん発見数は平成27年4月15日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は( )に記載のとおり。

※ 無料クーポン券利用者 15,768 名を含む。

※ 頸部 検査件数 34,804 人、要精検数 858 人(要精検率 2.5%)

体部 検査件数 2,275 人、要精検数 51 人(要精検率 2.2%)

### ② 大腸

[表 27]

事業項目		年度		26年度			25年度		24年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績		
便潜血検査	件数	16,000件	12,698件	79.4%	21,000件	15,239件	19,928件		
	がん発見数	—	24人	—	—	37人 (27人)	57人 (46人)		

※ がん発見数は平成27年4月15日現在の人数である。なお、前年までの各年3月末時点における実績は( )に記載のとおり。

※ 検査件数 12,698 人、要精検数 978 人(要精検率 7.7%)

### (3) 料金規程等による事業 (定款第4条第3号事業)

財団料金規程等による事業として、企業健診等を実施した。26年度は教育委員会より委託を請けた小中学生結核検診精密検査のほか、地区医師会で実施したがん検診の精度管理業務を段階的に拡充していく世田谷保健所の計画において、胃がん・肺がん検診についてを新たに受託し実施した。

[表 28]

事業項目		26年度			25年度		24年度
		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
小中学生心臓精密検査	人数	100人	86人	86.0%	100人	89人	106人
企業健診	人数	2,000人	2,029人	101.5%	2,000人	2,119人	2,050人
個人健診	人数	400人	405人	101.3%	400人	461人	556人
脳ドック	人数	192人	192人	100.0%	192人	189人	202人
動脈硬化検査	個人	450人	600人	133.3%	1,000人	972人	1,075人
	企業	※企業健診で集約					
体成分分析測定	人数	50人	187人	374.0%	50人	138人	136人
骨密度測定	人数	50人	249人	498.0%	300人	287人	149人
医師会実施 大腸がん検診 精度管理	一次検診 集計件数	40,000件	24,101件	60.3%	40,000件	27,670件	3,326件
	精密検査 集計件数	—	848件	—	—	937件	90件
医師会実施 胃がん検診 精度管理	一次検診 集計件数	200件	103件	51.5%	—	—	—
	精密検査 集計件数	—	8件	—	—	—	—
医師会実施 肺がん検診 精度管理	一次検診 集計件数	—	19,925件	—	—	—	—
	精密検査 集計件数	1,000件	322件	32.2%	—	—	—
結核検診精密検査	人数	200人	274人	137.0%	—	—	—

※医師会実施精度管理のデータ取得は、検診日から3か月以上を要するため、上記数値は平成27年4月末日現在の取得データ集計値である。

**収益 2 障害者支援者及び施設への技術提供事業  
(総合福祉センター事業)**

**(1) 住宅改造アドバイザー事業 (定款第 4 条第 4 号事業)**

自宅において安全で便利な日常生活が送れるように、介護保険の住宅改修費の支給を受けて、住宅の改造を行う家庭に訪問し、相談に応じるアドバイザーとして専門職員を派遣した。

[表 29]

事業項目		年度		26年度			25年度		24年度
		回数		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
住宅改造アドバイザー派遣	回数			300回	274回	91.3%	200回	240回	235回

**(2) 障害者施設等技術支援事業 (定款第 4 条第 4 号事業)**

障害のある高齢者がいる施設等に専門職員を派遣し、障害特性の理解や介助方法、留意点等について技術的な助言・指導を行った。

[表 30]

事業項目		年度		26年度			25年度		24年度
		回数		計画	実績	達成率	計画	実績	実績
専門職員派遣	回数			70回	71回	101.4%	160回	188回	178回